

<結核版>

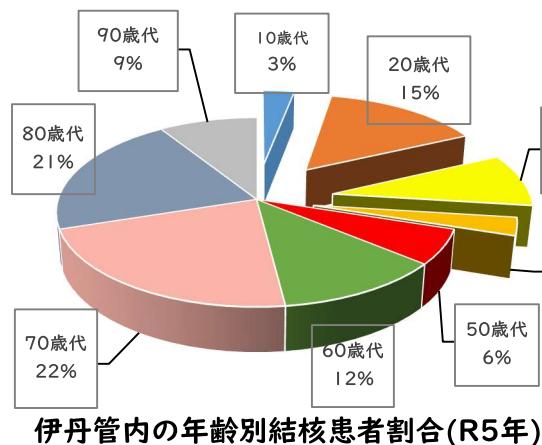
編集/発行 令和7年7月8日
兵庫県伊丹健康福祉事務所
(保健所)健康管理課

感染症ミニレター

～日本もようやく低蔓延国入りしましたが、まだまだ要注意です～

TEL 072-785-2371
FAX 072-777-4091

日本はこれまで結核の中蔓延国として対策を行ってきました。その結果、令和3年に低蔓延国となりました。そして、令和4年に続き令和5年も結核の罹患率(人口10万対)が全国では8.1(伊丹管内では8.8)と10を下回っています。しかし、高齢者の結核は依然として多く、結核死亡も後を絶ちません。外国出生者の結核も多い状況です。



60歳以上が6割以上を占めていますが、令和5年は10~30歳代の若年層も増加しています。
そして、20代の結核罹患者のうち、約63%が外国出生者です。

注意



結核発見が遅れるケース例

- ・症状があっても受診しないケース
- ・健診を長期間受けていないケース
- ・職場健診で要精密検査判定後に受診できていないケース



発見が遅れると、
周囲へ感染を広げる可能性
も高くなります！

有症状時は早めに受診し、健診にて要精密検査判定となつた方には必ず受診してもらうよう徹底をお願いします！

<症状>

- ・発熱・寝汗
- ・食欲不振
- ・体重減少
- ・倦怠感(なんとなく元気がない等)
- ・呼吸器症状(咳・痰・呼吸苦・胸痛)



左記のような症状が2週間以上続いている場合や、いったん改善してもぶり返している場合は放置せず、

早期受診し、胸部X線検査・喀痰検査など必要な検査を受けましょう。

周りの職員に左記のような症状があつて受診をしていない場合、

周囲の人が受診を促してみましょう。

RITJATA



<QRコード>から見ることができます



出典：結核研究所対策支援部

RITJATA

企業で役立つ結核の正しい知識

～外国人技能実習生を受け入れる企業・監理団体向け～



動画 視聴時間：15分

日本語で専門用語を平易な言葉で解説

<QRコード>から動画を見ることができます



内容の一部

●結核の治療について

- Q. 発病したらどのような治療をするの？
- Q. 発病したら入院が必要ですか？
- Q. 入院することになったら？
- Q. 症状がなくなったら薬をやめてもよいの？

外国人技能実習生の悩み

- 相談相手になる人が常時そばにいないことによる不安
- ・日本語の理解不足からくる疎外感
- ・母国の家族に関する思い

出典：結核研究所対策支援部

症状がなくても40歳以上の方は
年1回は胸部X線検査を受けましょう

